



新しい「仲間」をご紹介します



昨年の11月1日付で新採用した職員をご紹介します。



11月から介護支援専門員として勤務しています、藤原徹です。日々の暮らしの中で困っている事やこんなことをしたい、などがあれば一緒に考えていきたいと思います。宜しくお願いします。

当事業所は、藤原を含め7名の介護支援専門員が所属しております。独立型居宅介護支援事業所としての強みを生かし、今後も頑張っていきますので、宜しくお願い致します。

令和6年度報酬改定の単価等が明らかになりました。

「第239回社会保障審議会 介護給付費分科会(令和6年1月22日開催)」が開催され、次年度報酬改定の具体的な単価等が示されました。今回の改定には、①地域包括ケアシステムの深化・推進、②自立支援・重度化防止に向けた対応、③良質な介護サービスの効率的な提供に向けた働きやすい職場づくり、④制度の安定性・持続性の確保、⑤その他 の5本柱が掲げられています。

例えば・・・

訪問看護に「専門管理加算」新設(月:250単位)→ 医療ニーズ高い利用者への支援
訪問リハ・通所リハに「退院時協働指導加算」新設(月:600単位)→ 入院中のリハ計画書入手
居宅介護支援の特定事業所加算単価見直しと要件変更→ ヤングケアラー等研修などへの参加
看取りへの対応強化→ ショートステイ、訪問入浴、訪問看護などで加算創設または見直し
通所リハに「リハマネ加算(ハ)」を新設→ 6か月以内は793単位(6か月以降は473単位)
通所介護等の入浴介助加算の算定要件追加→「入浴に関する研修実施」が必要(入浴加算Ⅰ)
4段階の処遇改善加算への1本化→ 特定処遇改善加算とベースアップ加算を統合
訪問介護の同一建物減算の見直し→ 「12%減算」を新たに創設
同一建物の利用者の居宅介護支援費減算→ 20名以上の方を同じ居宅支援事業所が担当する場合
運営規定をウェブサイトに掲載・公表を義務化→ 令和7年度より義務化
ショートステイや特養等居住費の見直し→ 1日60円追加される などなど

詳細は分科会資料が厚労省で公開されてますので、ぜひご一読を！

※訪問看護、通所リハなど医療系サービスに関する改正や処遇改善加算、ショートステイ等の居室料変更などは、今年4月からの改正ではなく6月からですのでご注意ください！

研修会に参加してきました



大分市介護支援専門員協会研修会 「社会資源を知る ～身寄りのない方」等への支援方法を考える～ R5.12.13

- ①NPO法人住むケア大分
講師:三好 桂子 氏
居住支援活動の主な取り組みと説明
- ②大分身元保証協会ふじ
講師:橋本 好秀 氏
身元保証協会ふじの主な取り組みや支援内容説明
事例紹介
- ③大分市成年後見センター
講師:末広 誠 氏
成年後見制度についての説明
- ④グループワーク
身寄りがいない方の支援で困っている事

感想より
支援に取り組んでいる
事業所の事業内容を知
ることができて良かった。

参加者数からも非常に
関心の高い事が伺え
た。専門機関と連携し
ていく必要性を強く感じ
た。

大分市在宅医療・介護連携支援センター研修会 家族の援助を受けられない方の支援 ～様々なガイド ラインからの支援を考える～ R5.12.20

講師:弁護士法人大分あおば法律事務所
田中 利武 先生

- ・「シングルの方」中心の社会へ
- ・「シングルの方」中心における医療と介護
- ・入院医療と医療・介護連携について

感想より
医療・介護・有償・イ
ンフォーマルサービ
スを活用し、連携や
役割分担を行ってい
く必要があると感じた。

参考資料

身寄りがいない人の入院及び医療に係る意思決定が困難な人への支援に関するガイドライン及び事例集 : 厚生労働省 (令和元年6月)

[厚生労働省ホーム](#) > [政策について](#) > [分野別の政策一覧](#) > [健康・医療](#) > [医療](#) > [医療分野のトピックス](#) > [身寄りがいない人の入院及び医療に係る意思決定が困難な人への支援に関するガイドライン](#)



当事業所では積極的に社内研修会を行うとともに社外の研修会にも参加をしています。今年度は改正もありますので、よりアップデートしながら、ご利用者様の生活をご支援させていただきます。

【介護に関するお問い合わせ】居宅介護支援事業所 スマイルゆい

- ☑住所: 〒870-1103 大分市数戸西町1-3 ミスチャーハウスえん2F
- ☑TEL: 097-504-7858 ☑FAX: 097-504-7848
- ☑E-MAIL: furumura@wonder.ocn.ne.jp



編集後記



2月4日は“立春”。二十四節気において、春の始まりであり、1年の始まりとされる日です。まだまだ寒い日が続いていますが、春はすぐそこ。インフルエンザや新型コロナが流行っていますので、手指消毒やマスクの着用等、基本的な対策を行い、体調を整えましょう。